

社会実装・PoC



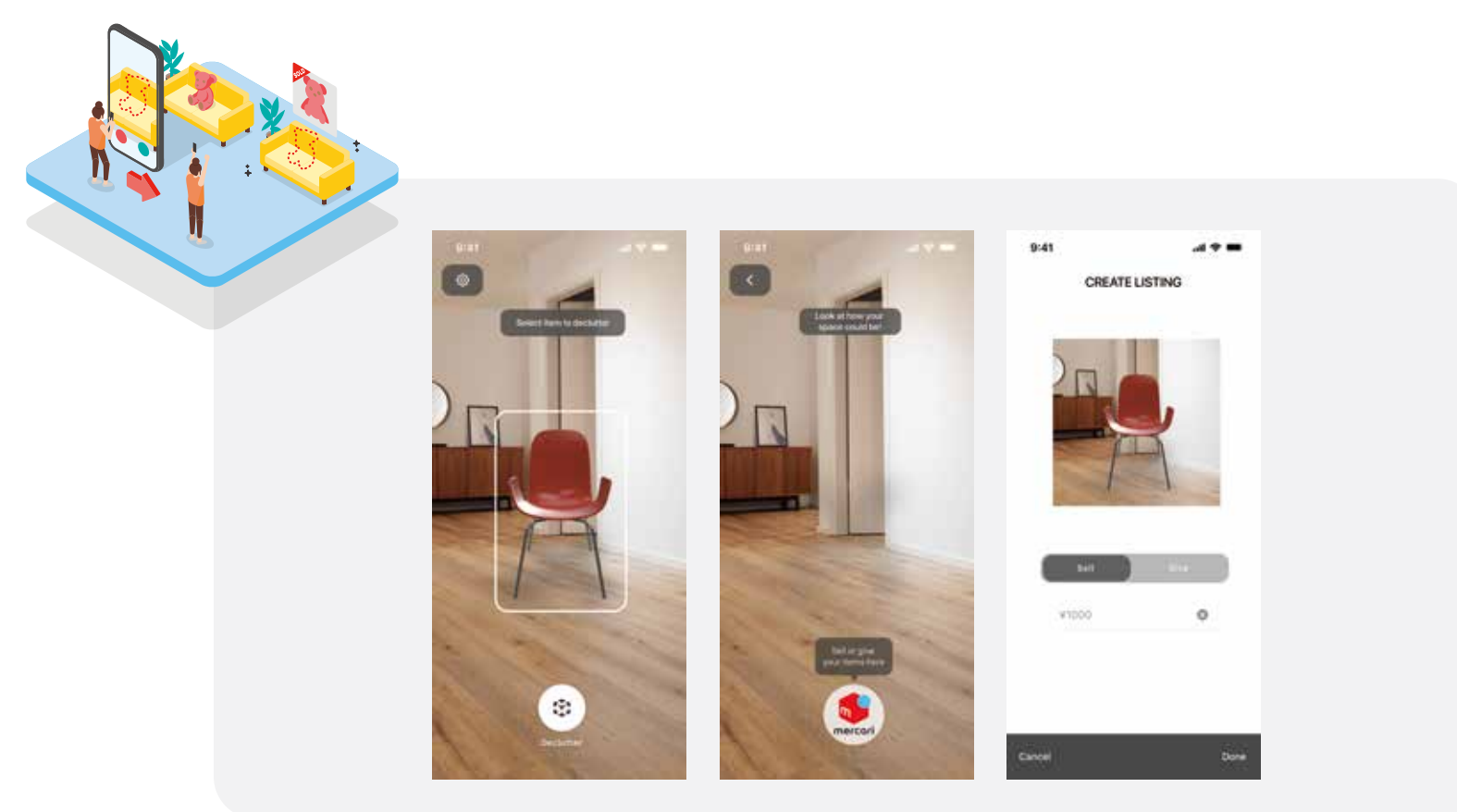
なめらかに移動できる社会

東京大学との共同研究。インクルーシブな社会の移動を支える、空気でふくらむやわらかいモビリティ「poimo」のプロトタイプを開発。



循環型社会の実現に向けて

東京大学RIISE社会連携研究部門「価値交換工学」と合同で、「メルカリ」の取引を通じて生まれた削減貢献量を算出。



AR活用による片づけ支援

「散らかった空間」を「片付いた空間」のように見せるアプリを開発。物を捨てる・片付けることが苦手な人を支援する。



価値共創のサービスデザイン

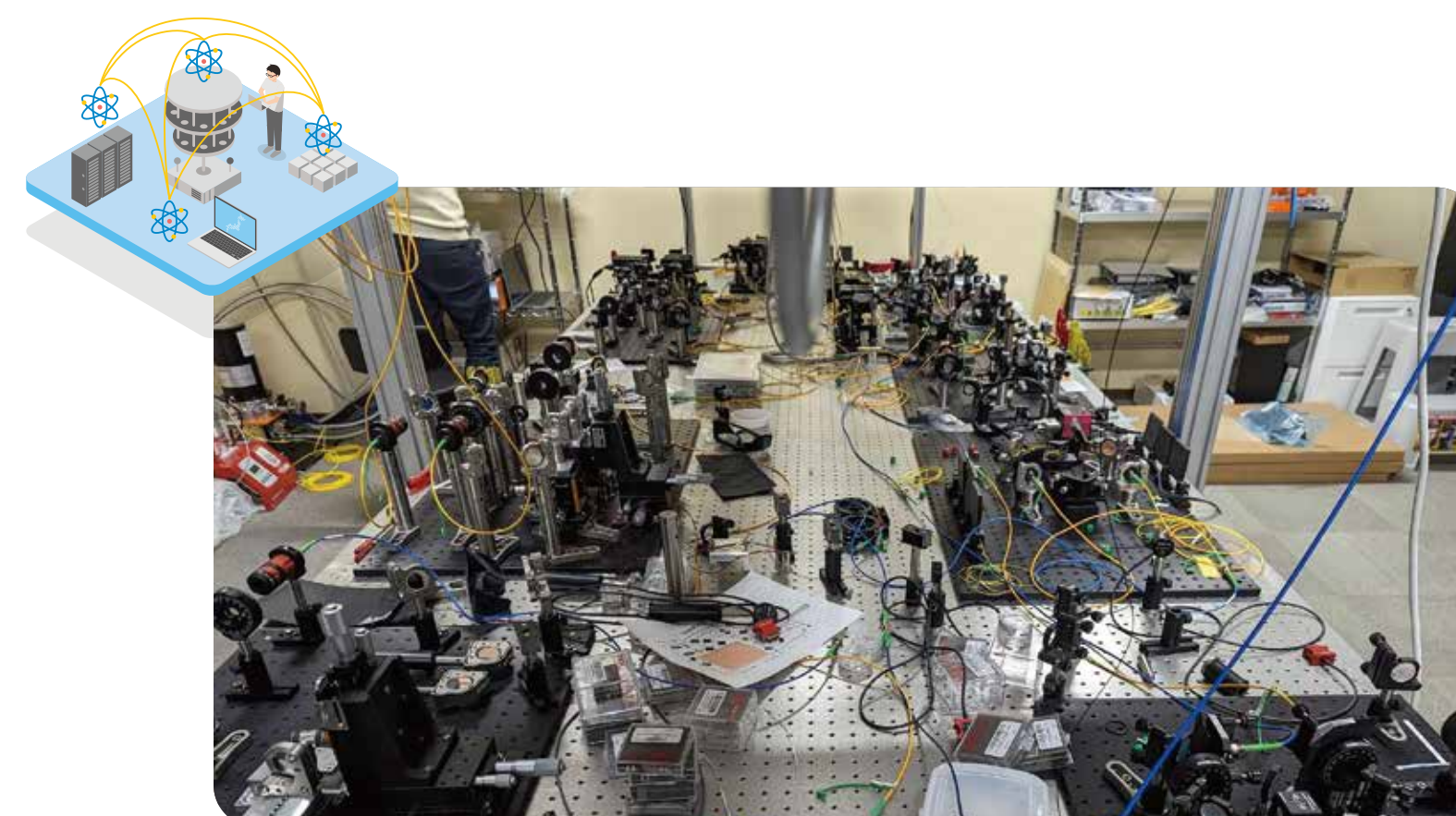
武蔵野美術大学とともに、循環型社会に向けた人の行動変容と習慣化を促す価値共創のデザインPJを実施。

(4) ユースケースに基づいたリスク分類

リスクレベル	内容	インシデントが発生する可能性が低いケース	リスクレベルが高くなるケース
低	個人情報の漏洩 取引・コメント機能を利用する際に、ユーザーのIDやプロフィール画像が公開され、第三者に個人情報が知られる可能性がある。	LLMに個人情報を提供する機能がない。	LLMに個人情報を提供する機能がある。
中	基本個人情報の漏洩 「メルカリ」のサービス利用において、ユーザーの住所、電話番号、メールアドレス、パスワードなどの個人情報が不正に取得される可能性がある。	生成AIが不正に個人情報を取得する機能がない。	生成AIが不正に個人情報を取得する機能がある。
中～高	重大な個人情報の漏洩 生成AIが不正に個人情報を取得し、第三者に提供される可能性がある。	生成AIが不正に個人情報を取得する機能がない。	生成AIが不正に個人情報を取得する機能がある。

生成AIガイドラインの公開

R4Dと生成AI/LLM専門チーム、大阪大学ELSIセンターとともに、「LLMを用いたプロダクト開発をスピーディーに行うためのガイドライン」を策定。



量子インターネット実現への挑戦

量子技術を前提に社会や産業が再構成されている「量子前提時代」を見据え、量子ネットワークテストベッドの構築を複数のレイヤーとともに実装中。

論文



電子情報通信学会「HCGシンポジウム2023」において
最優秀インタラクティブ発表賞を受賞

発表タイトル「相手に求めるコミュニケーションスタイルの提示がフリマアプリにおける価格交渉のやり取りに与える影響」



ブロックチェーン技術に関する国際会議「IEEE ICBC」に暗号資産
ウォレットの管理を安全に行うリスク管理策を提案した論文2本が採択

発表タイトル「Pragmatic Analysis of Key Management for Cryptocurrency Custodian」
「FATF Travel Rule's Technical Challenges and Solution Taxonomy」

And more...

mercari R4Dの特徴

Co-innovation的アプローチ

共通目的・目標のもと、研究課題を探索する段階から研究領域やコミュニティの枠を超えて協働し、研究成果の先にある社会課題の解決を目指す

価値交換工学
Value Exchange Engineering

東京大学に社会連携講座「価値交換工学」を設置

QITF QUANTUM INTERNET TASK FORCE

日本初の量子インターネット研究推進団体「QITF」の設立

CGTF CRYPTOCURRENCY GOVERNANCE TASK FORCE

セキュリティ専門家と暗号資産交換業者の関係者で設立した研究会「CGTF」への参加

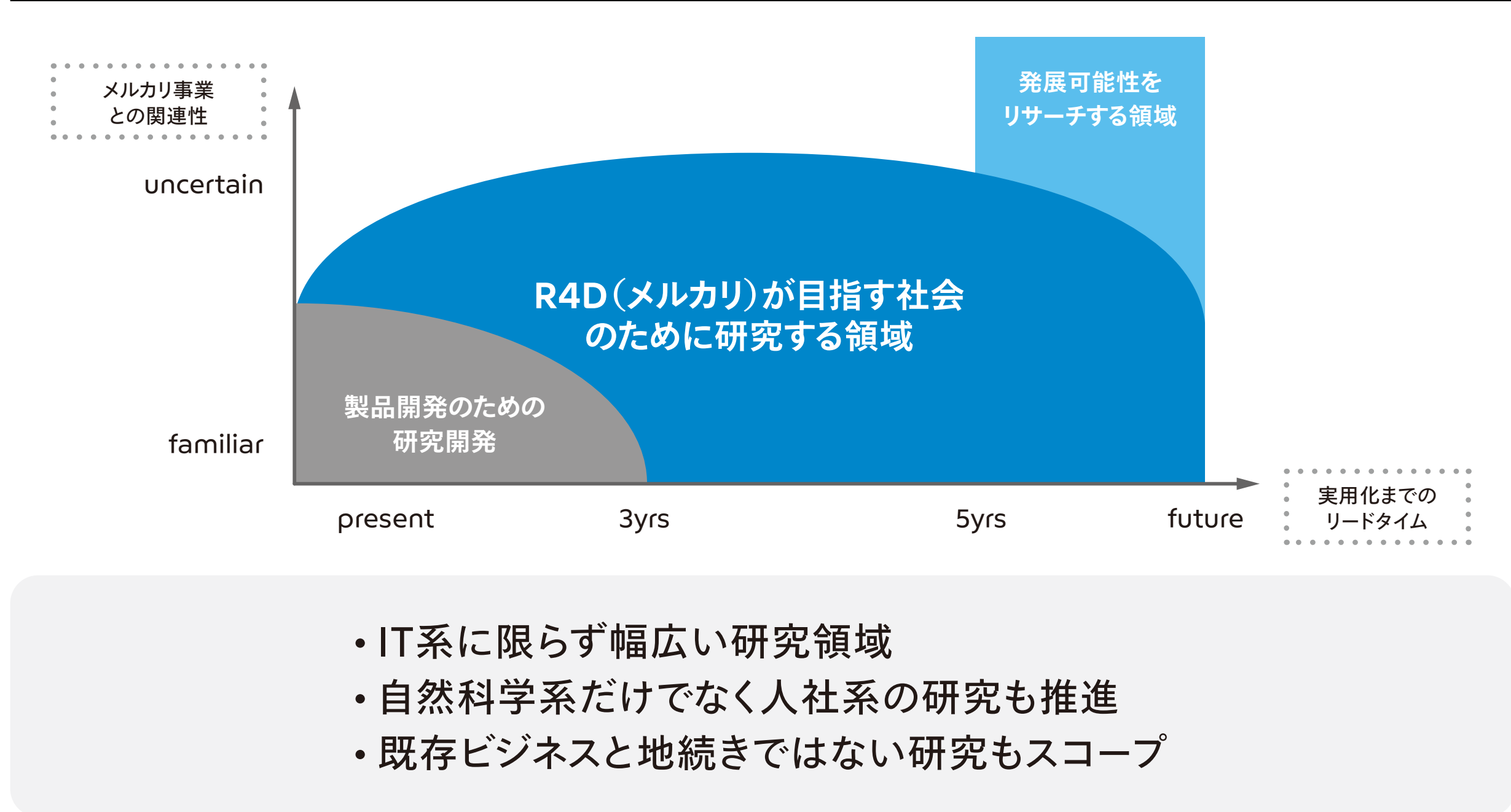
メルカリデータセットの提供

実際のメルカリ上の取引データを研究利用できるよう、学術研究機関に向けて提供

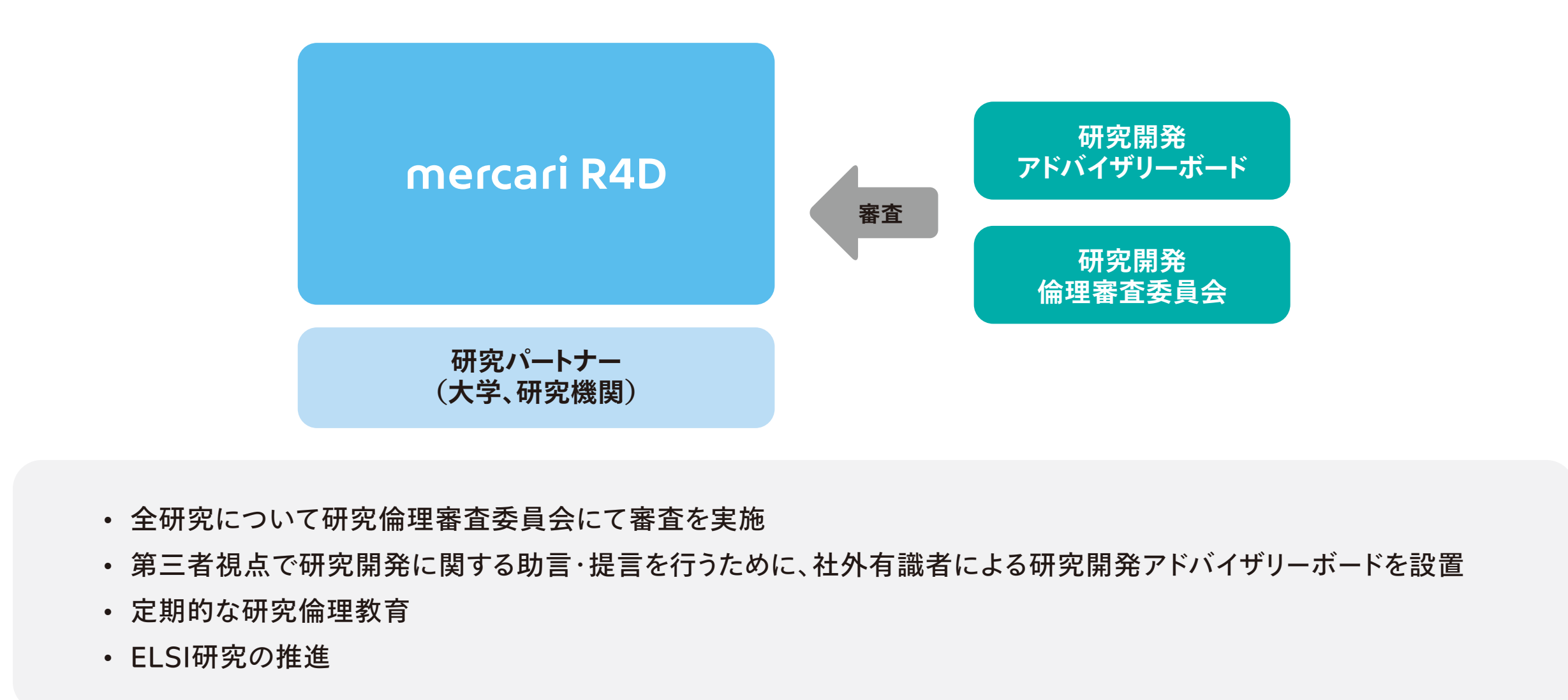
データセット概要

- 商品情報 (テキストデータ)
- 商品情報 (画像データ)
- コメント情報 (テキストデータ)

幅広い研究領域



倫理性・社会性



柔軟な人材制度

柔軟な雇用形態

- フルタイム勤務、時短勤務、大学との兼職が可能

人材交流制度

- 人社系の新たな働き方支援として、大阪大学ELSIセンターとの人材交流制度を開始
- 学振PD受入れ・雇用制度導入機関への登録

社会人博士支援制度

- 職種問わず応募可能
- 学費全額負担(最大年間200万円程度を想定)
- 研究時間と仕事時間を調整可能(時短制度)
- 研究分野不問(人社系の分野も積極支援)

関連情報



データ利用申請



R4D web



X



YouTube



Instagram



TikTok